

SSH活動報告

サイエンスコミュニケーター

高校3年生のSSHクラスは、特別講座の期間に「サイエンスコミュニケーター(SC)」という授業を行いました。この授業は小中学生にサイエンスの楽しさを実験などを交えて伝えるというものです。1月18日に本校中等部1年生、1月25日に高輪台小学校6年生に発表しました。

SCを終えて

3年10組 武井 月海

私たちは授業の5・6時限目を使い、小学生に向けて、理科の楽しさを伝えるための授業を考えてきました。私たちの班は「酸化と還元」をテーマに、身近な酸化や酸化還元反応などに、自分たちで考えた劇を交えて発表しました。酸化や還元という言葉は皆さんなら知っていると思います。酸化還元反応には酸素以外に電子が関係していることも知っていると思います。しかし、発表する相手は小学生です。酸素は知っているも電子は知りません。私たちが当たり前だと思っていることが通じなく、今まで発表はたくさんしてきましたが相手に合わせて発表を変えることは初めてでした。

また今回、私は班で発表を行う以外に司会という仕事もさせていただきました。司会では発表の進行を劇で行い、練習のときは不安でしたが劇の評判も良く、小学生が楽しんでくれたのでとても嬉しかったです。こういった経験は普段なかなかできないので、とてもいい勉強になりました。



小学生・中学生の感想

実験やクイズで楽しく説明をしてくださったので、とてもわかりやすかったです。身近なところで起こるいろいろなことに、理科が関係していることがわかり、もっと調べてみたいくなりました。

それぞれの班に特徴があって、わかりやすく、楽しく面白く発表してくれました。あまり理科には関心がなかったけれど、初めて知れたことがあり、奥が深いなあと思いました。

小学校で習ったことを踏まえて教えてくれたので、わかりやすく面白かったです。理科は少し苦手の教科だったけど、この授業のおかげで、

もっといろんな理科の授業を受けてみたいと思いました。この授業で習ったことを忘れないようにしたいです。

理科のいろいろな楽しさがわかりました。また、勉強は理科に関わらずどの教科も楽しんで取り組めばいいということがわかりました。この経験を生かして、中学・高校でも頑張りたいです。

色の見え方などたくさんのことをわかりやすく説明してくれてうれしかったです。特に静電気の授業では、実験が少し怖かったけど、とても楽しかったです。理科の授業がこんなに楽しいと改めて知りました。また、高校生の授業を受けてみたいです。

<サイエンスコミュニケーターの様子>

